

(別紙)

2025 年度緑化優良工場等経済産業大臣賞等 受賞工場の功績概要

【経済産業大臣賞受賞工場（2 工場）】

トヨタ自動車北海道株式会社（北海道苫小牧市）



1992年の創業以来、緑化計画を策定し、敷地内にサクラやラベンダー、ハスカップ等、様々な緑地を整備している。敷地内には苫小牧港竣工前の環境を残した緑地も維持しており、希少な動植物のモニタリングや環境保持にも取り組んでいる。

また、コロナ禍で中断していた「トヨタの森」の一般公開再開に向けて、遊歩道の整備や、シンボルツリーの植樹、ベンチの設置等の準備を実施している。

加えて、地域でのカーボンニュートラルを目指し、水素ボイラを試験的に導入するなどの環境保全活動に積極的に取り組んでいる。

株式会社アマダ富士宮事業所（静岡県富士宮市）



工場設立当初から事業所内の広大な森林と共に、「アマダの森」として整備、維持管理している。「アマダの森」には多種多様な動植物が生息しており、社員がこれら動植物のモニタリングに継続して取り組むとともに、地域の小中学生向けのフィールドワークの場として提供している。加えて、緑地が元来持つ雨水浸透機能等をさらに高めたレインガーデンを導入するなど、地域環境の改善に寄与する新たな取り組みを行っている。

【経済産業局長賞（3工場）】

（関東経済産業局長賞）

キヤノンメディカルシステムズ株式会社（栃木県大田原市）



1979年操業以来、工業団地内で長年にわたり高い緑地率を維持している。敷地内に在来種の植樹を行い緑地の改善をするとともに、2014年には蝶のビオトープを実現している。近隣の小学生等を対象とした生きもの観察会や昆虫、野鳥のモニタリングにも取り組み、地域の環境教育にも貢献している。

勅使河原鉄建株式会社（群馬県富岡市）



1998年操業当時から広い敷地内に緑地を維持しており、敷地境界沿いの桜並木や斜面緑地の管理を丁寧に行い、森林資源の維持管理とともに周辺環境との調和を図っている。敷地内のスポーツ施設は地域住民の交流の場となっており、防災倉庫を設置するなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

サントリープロダクツ株式会社サントリー天然水北アルプス信濃の森工場（長野県大町市）



広大な近隣の森林を借り受け、水源涵養や土壤保全の森林整備活動を実施している。次世代環境教育「水育」として地元小学校での出張授業や親子で参加する体験型プログラムを実施するなど緑地の開放とともに地域に貢献している。また、間伐材を利用したバイオマスボイラーの活用によるCO₂削減にも取り組んでいる。

関東経済産業局：

https://www.kanto.meti.go.jp/seisaku/kigyoricchi/ryokka_hyosho.html

（参考）一般財団法人日本緑化センター会長賞等

【会長賞（9工場）】

企業・工場名	場所	企業・工場名	場所
株式会社前川製作所 守谷工場	茨城県 守谷市	早川ゴム株式会社 箕島工場	広島県 福山市
第一三共株式会社 館林工場	群馬県 邑楽郡	株式会社 泉製作所 鳴門北工場	徳島県 鳴門市
キヤノン株式会社	東京都 大田区	カンケンテクノ株式会社熊本工場	熊本県 玉名市
株式会社アイエイアイ 富士宮工場	静岡県 富士宮市	株式会社九州フセラシ	大分県 宇佐市
株式会社明電舎 沼津事業所	静岡県 沼津市		

【会長奨励賞（1工場）】

企業・工場名	場所
ニデックマシンツール株式会社	滋賀県 栗東市

一般財団法人日本緑化センターのプレスリリース：

<http://www.jpgreen.or.jp/koujyo/index.html>

(問い合わせ先)

経済産業大臣賞	経済産業政策局 地域産業基盤整備課 野々村、小倉、古木 (電話)03-3501-1511 (直通)内線 2781～2786
関東経済産業局長賞	関東経済産業局 地域経済部 企業立地支援課 松岡、高木 (電話)048-600-0269 (直通)
日本緑化センター 会長賞・会長奨励賞	一般財団法人 日本緑化センター 企画総務部 小山、峯 (電話)03-6457-5215 (代表)